

—ポドフィルム—



学名：*Podophyllum peltatum* L. 科名：メギ科 Berberidaceae 属名：ミヤオソウ属 *Podophyllum*

形態：北アメリカ東部やカナダに自生、また栽培される。多年草で、根茎は長く横走する。

有柄。葉は直径 20～40cm で傘を開いたような形状。葉身は楕状円形 5～7 分裂、裂片は 2 浅裂、粗鋸歯縁。

5～6 月に葉間に白い 6 弁花を単生。

生薬名：ポドフィルムコン（ポドフィルム根）

使用部位：根、根茎

成分：リグナン(-)-podophyllotoxin, (-)- α -peltatin, (-)- β -peltatin, α -peltatin glucoside, (+)-picropodophyllin など

製剤、用途：ポドフィルム脂…瀉下薬、エトポシド*…抗悪性腫瘍薬

北米の先住民族はポドフィルムを催吐剤、下剤として使用しており、伝統的に使われてきた生薬である。また、殺虫剤、防虫剤としても利用される。

ポドフィルムは全草有毒であるが、良く熟した果実のみ食用することができる。その味はイチゴとメロンを組み合わせたような味がすると言われる。ただし、大量に摂取すると毒性がある。

*エトポシドはポドフィロトキシンをリード化合物としてデザインされた抗がん剤であり、日本薬局方にも収載されている。

<参考文献>

生薬学 第8版（廣川書店） 最新薬用植物学（廣川書店）

Canadian Medicinal Crops, NRC Research Press

<http://www.survival-manual.com/edible-plants/mayapple.php>

<http://www.eattheweeds.com/podophyllum-peltatum-forgotten-fruit-2/>

2017.6.16 4YP F.S.